

岡山作文の会会長賞

もちもち おもちが できるまで

鏡野町立南小学校

一年生 あんどう けい

ふゆ休みに なって、おもちつきを しました。いつも お
じいちゃんの いえで します。もって きた エプロンを
つけて、じゅんびは ばんたん。さっそく、白い こなを 手
に つけて おもちを まるめました。

大きな おけに、おもちの ごはんが ありました。おけは、
ぼくが 入れるくらい とても 大きな 入れものです。お米
を 水と いっしょに まぜて いました。もち米と いう
お米だそうです。ひしゃくと いう 入れもので、もち米を
すくいます。ながい ぼうの ところを りょう手で しっか
りと もって、

「よいしょ、よいしょ。」

と、五かいくらい すくいました。すくった もち米は、ちゃ
いろの かごに 入れました。そうきです。ぼくは しりませ
んでした。そのの かまどで ごはんに なるまで おします。
かまどの まわりは、ゆきが つもって います。おじい
ちゃんが かまどまで、かごを もって いきました。白い
けむりが もくもく 出ています。ぼくは、木が もえて い
るのを のぞいて 見ました。おじいちゃんが、木を 入れて
います。

「なにしょん。」

「木を くべようる。」

「え、くえる。」

「く、べ、る。」

「くでる。」

ぼくは、なにを いった いるのか わかりませんでした。

「木を 入れること、くべるって いうんで。」

「くべる。」

「そう、くべる。」

はじめて ききました。おかあさんや みんなが わらいまし
た。けむりが ぼくの ほうに くるから、おにごっこみたい

ににげました。にげてもにげてもついてきます。けむりが目に入っていたくになりました。

できたもち米は、もちつきのきかいでぐるぐるとまわりました。きかいがガタガタゆれています。ほいくえんでした。もちつきは、きねとうすでしていたけれど、きかいでできるので、ぼくにもできます。大きなまるいおもちになると、きるきかいに入れてつくり出す。くるくるまわしていると、おもちがぷにゅっと出てきて、ガチャンと一つぶんの大きさをきります。五かぐらいまわすと、おもち一つになります。おもちはおついで、これなら、ぼくもお手つだいできました。

なんかいもなんかいもつくったから、おもちやさんみたいに なりました。ぼくは、おもちになるまえの、ごはん、しおをかけてたべるのがすきです。たくさんたべました。まるめたおもちもたべました。しょうゆをつけてたべるのもおいしいので、なんこもたべました。おねえちゃんもおかあさんもたべていました。ぼくは、おなか いっぱいになりました。ぼくのおなか、おおきなおもちに なって いました。